

明治大学 2022 年度 国際化サポート海外留学奨励金 オンラインプログラム報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	エンデラン大学(オンライン)
プログラムで学んだ内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250~300 字程度)	
3 時間はマンツーマン授業で、アクセント・トレーニングやあるテーマに関して先生と 1:1 で会話する授業を行った。ここで、アクセントの理論的な部分は難しかったが、先生から少し矯正してもらえる。そして、自分が表現したい文章を英語ですっと考えてなければならぬので、英語のスピーキング力が少し上達できるようになった。その後、2 時間は他の学生とのグループ授業で、先生が一人ひとり発表させるので、常に緊張感を持ちながら、授業に取り組んだ。このような過程を通して、英語しか使えないので自然に英語のスピーキングが慣れるようになったと思う。	
バーチャルアクティビティへの参加等、現地の学生との交流や授業以外の活動において、どのような経験を得ることができたか記載してください。(250~300 字程度)	
フィリピン先生とのマンツーマン授業で、様々なテーマに関する会話を通して、フィリピンの文化も学べる機会になった。例えば、フィリピン人はフィリピン語と英語の中でどちらをもっと使うのか、人々はどんな宗教を持っているのか、普段どんな料理を食べるのか、主にどんな行事が開かれているのかなど、自分が知らなかった知識を分かるようになった。また、自分の母国に関する話とか、担当先生と私はお互いに同じ趣味を持っていたので、共通的に関心事に関しても楽しく話しながら情報を共有することができた。	
オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて記載してください。(250~300 字程度)	
メリットは、授業中に知らない言葉や表現したい文章がわからない時、その場で速やかに辞書で調べてもいいので、自分の英語実力に関する負担も減るし、授業の理解度が高める。また、現場に留学に行くより授業料の負担がないので、やる気だけあれば気軽に受けられる。また、家で受けるので時間を効率的に使うことができる。デメリットは、たまに先生が出席しない時があったが、その授業補充に関しては自ら積極的に担当者に伝えて取り組まなければならない。それ以外は一般的なオンライン授業に関するデメリットを踏まえると、特にデメリットはないと思う。	
オンライン授業への臨み方(時差・コミュニケーション)としてモチベーションアップ等に役立ったことを記載してください。(250~300 字程度)	
授業が朝9時から始まったので、休みでも勤勉に規則的な生活ができる。また、英語力を上達したいと思ったら、何もしないよりは、できるだけ学校の留学のプログラムなどを通して、自分に英語を使える環境を整えると、結構英語を使える機会が増えて、英語のリスニングやスピーキングが慣れるので役に立つと思う。例えば、授業で先生と話す時、会話ができるために事前に勉強した言葉とか、よく使う文章や表現が何回も繰り返して使うことで、自然に覚えるようになる。また、自分が使っている言葉の文章や発音が適切なのか先生の反応を見てわかるので、独学するより勉強になる。	
今後の展望・目標について、プログラム参加前と後での変化も含め記載してください。(250~300 字程度)	
私は今まで英語を使う機会がなかなかなかったため、最初は自分がきちんと英語だけで授業を受けられるのか不安なところがあったが、ずっと英語を使う環境に置かれたことで、最初よりは自然に英語に慣れるようになった。自分の英語の表現力を増やせるために、スピーキングだけではなく、英単語やリディックをもっと勉強しなければならぬと感じた。そして、今回のプログラムを通して、もう少し勉強したら今より英語力が向上できるというモチベーションができ、今回の授業だけではなく、今後も英語を話せる機会を作る必要があると思う。	
【注意事項】提出された報告書は、次年度以降の短期海外研修の募集および未来サポーター募金事業の広報を目的に、原則として当原稿をそのまま外部に公開いたします(学生番号、性別、生年月日、連絡先は公開しません)。	

明治大学 2022 年度 国際化サポート海外留学奨励金 オンラインプログラム報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	エンデラン大学オンラインプログラム
プログラムで学んだ内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250~300 字程度)	
授業では1日に発音と表現の練習を3時間1対1で行い、その後会話の練習を2時間グループワークで行いました。発音の授業では音声学の観点から発音記号や単語のつながりを丁寧に学習しました。これまで本格的に発音を学習したことがなかったため、伝わりやすい発音を目指すうえで役立ちました。表現の授業では様々な質問に即興で答え、文章を書きました。1対1のため適宜表現を補いつつ世間話の感覚で練習ができました。グループワークの授業では旅先のような状況での会話や特定の質問について話し合うといった練習をしました。生徒同士で話し合うために授業の半分ほどはブレイクアウトルームを活用していました。	
バーチャルアクティビティへの参加等、現地の学生との交流や授業以外の活動において、どのような経験を得ることができたか記載してください。(250~300 字程度)	
オンライン用のプログラムであったため、特段レクリエーションや現地の学生と交流する機会はありませんでした。ただしプログラムの初日と最終日には本格的な入学式や卒業式が用意されており、先生との交流の機会となっていました。入学式ではプログラムに関するオリエンテーションだけではなく、エンデラン大学のキャンパスや授業について動画を使って丁寧に紹介していました。卒業式では卒業証書の授与や、生徒によるスピーチ、表彰式、生徒の顔写真を利用したスライドショーなどがあったため、達成感を持ってプログラムを終了することができました。	
オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて記載してください。(250~300 字程度)	
メリットは渡航や滞在にかかる費用を抑えられる点が大きいです。また拘束時間が平日午後3時までと短いため、アルバイトや家事をしながら受講することができます。加えて海外渡航をしないため、パスポートの紛失といった潜在的なリスクを回避することにもつながります。 デメリットは授業以外の異文化体験に乏しい点が挙げられます。文化交流のような企画の有無にもよりますが、どうしても授業中心になりがちだと思います。またオンラインの都合ネット回線やパソコンの不調によって授業を中断しなければならないことや画面を長時間見ることによって疲れを感じることもあります。	
オンライン授業への臨み方(時差・コミュニケーション)としてモチベーションアップ等に役立ったことを記載してください。(250~300 字程度)	
時差は-1 時間なのでほとんど支障はありませんでした。ただし日本時間と現地時間を混同しないように注意しました。コミュニケーションの面では相手が違う文化にいる点がモチベーションになりました。文化が異なるということは日常の物事がすべて話のタネになるため話題に事欠きませんでした。また日本語の固有名詞や微妙なニュアンスが通じないため、それらを的確に表現する練習になりました。逆に先生が紹介してくれたものの中には全くなじみのない文化がしばしばあったため、事前の知識なしに英語で理解する練習にもなりました。このような文化交流の面では日本で生活しながら受講できるオンラインプログラムにメリットがあると思いました。	
今後の展望・目標について、プログラム参加前と後での変化も含め記載してください。(250~300 字程度)	
プログラムを受講したことで自分の表現力を的確に把握することができたため、以前よりも具体的に今後の留学を意識できるようになりました。特に会話力や発音を向上させるために必要な練習方法を知ることができたため英語学習に具体的な方針を立てることができました。 今後の展望として在学期間中は所属学科に設置された英語で行われる授業に参加し、修士課程に設置された英語で行われる講演に潜り込むことで英語力を活用し、専門分野に関連した語彙を補いたいと考えています。そして大学院進学後は1年程度の長期留学をすることで最新の知見を得、研究に役立てることを目標にしています。	
【注意事項】提出された報告書は、次年度以降の短期海外研修の募集および未来サポーター募金事業の広報を目的に、原則として当原稿をそのまま外部に公開いたします(学生番号、性別、生年月日、連絡先は公開しません)。	